

人生の先輩から...

～100年健康・シニア活躍～



うめざわ まさよし
梅澤 正由さん
(笹目 79歳)

たくさんの経験が自分をつくる

就職のため福島から上京した梅澤さんは、40年前に戸田市に住み始めました。これまで内装工事やタクシー運転手など、さまざまな職種を経験してきた梅澤さんは、仕事だけでなく地域活動などにも積極的に参加してきました。小学校ではPTAの副会長、中学・高校ではPTA会長まで務めたほか、町会長や老人会でも役職に就いてきました。そのパワーはどこから生まれるのですかと尋ねると、「やってやれないことはないというのが信条。ならやってみよう、これまでたくさんのことをやってきた」と力強く答えてくれました。息子さんにPTA会長の打診があり、悩んでいた時には「自分でもできたのだから、やれないことはない。やってみたらいい」と背中を押し、親子2代で会長職を勤めました。

今も現役で働いている梅澤さんは、常に「やってみよう」というポジティブな考え方があるからこそ、日々の疲れを感じさせない、はつらつとした笑顔を見せてくれるのだと感じました。

こどもアート館



おう かおり
王 可馨さん
(新曽小学校 6年)

作品名

「スマイルユートピア」

幸せで楽しい雰囲気を表すために、人はみんな笑っています。

優しい人であふれている場面を絵に表すために、絵の具には水をたくさん使って優しい雰囲気の色にしました。

実際にこんな世界になってほしいと願いを込めて描きました。



さいたま静脈瘤クリニック (広告)

川口駅東口より徒歩 **2分** 休診日 水・日・祝
診察時間 9～12時・13～17時
048-229-5056 保険診療(一部保険適用外)

診察室 血圧内レーザー

血管のゴブ 脚の気になる症状

我慢 加齢だから... ちょっと辛いけど... 我慢生活

受診 静脈瘤なし お悩み解決アドバイス 術後診察

静脈瘤あり 診断 手術翌日 1-2ヶ月後

・病名 ・治療方針 ・説明/同意

安心生活

QRコード 手話

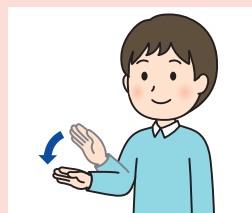
手話でコミュニケーション

第40回

今月は、「ある」「ない」についての手話を紹介します。

問い合わせ 障害福祉課(内線 297)

① ある



出した手の平を下に少しだけ降ろす。

② ない/～ない (動詞の否定)



指先を上にした両手の平を開いて前出し、自分の身体に向けて数回振る。

ワンポイント

手話は「形・位置・動き」で単語が成り立ち、1つでも違えば別の意味になる場合があります。今月の「ない」は身体に向けて手を動かしますが、外に向けてと令和5年11月号で紹介した「不要(～しないでいい)」と読み取られる場合があります。手話を学習する際は、この3つのポイントを意識しましょう。